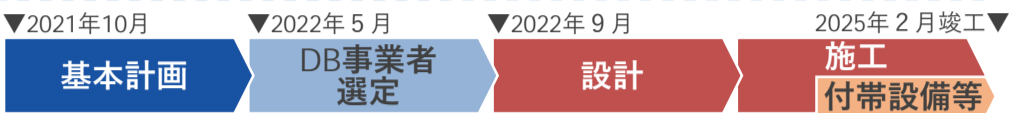


『感染症総合知のハブ』として、学問の垣根を越えて世界中の研究者が集い、感染症に関する研究を国際的にリードする国内最大規模の感染症教育研究拠点を整備

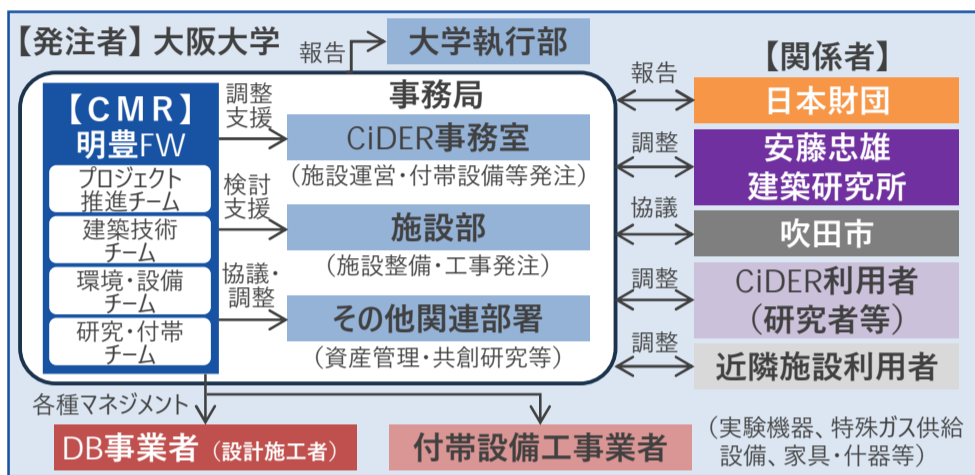
プロジェクトの目的と背景

- 最先端の研究をもとに総合知を創出・実装し、「いのち」と「くらし」を守る持続可能な未来社会の実現に取り組んでいる大阪大学において、**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックにより浮き彫りになった課題への対応を含め、次なる感染症の脅威から「いのち」と「くらし」を守るため、学内外から広く叡智と人材を結集する「感染症総合教育研究拠点(Center for Infectious Disease Education and Research: CIDER)」**が2021年4月に設置されました。
- 本事業は、**建築家 安藤忠雄氏のデザイン監修**を受け、「日本財団・大阪大学感染症対策プロジェクト」を基盤とし、**コロナ禍の2021年10月から開始し、2025年2月の竣工という早期整備(3年5ヶ月)を目指したCIDERの拠点施設整備事業**です。

プロジェクトスケジュール



当社は基本計画策定支援からDB選定、設計、施工段階まで継続して発注者を支援し、下記の多くの関係者との協議・調整を含めトータルマネジメントを実施。
 <プロジェクト関係者一覧> : 当社のマネジメント範囲



次なる感染症への脅威に備え、大阪大学で初となる**設計・施工一括発注(DB)方式**で**早期の施設整備実現**を目指す



CMRへ求められたこと

<発注者の要望>

- 複数の関係者の要望実現と経済合理性を両立させた基本計画・要求水準策定
- 大学初となるDB事業者選定における不調・不落防止と公平・公正な審査の実現
- 付帯設備等の別発注業務との調整も含めDB事業での品質・コスト・工程の管理

CMRの提案

関係者間での情報共有を円滑化した上で、**事業全体の視点を持ち、当社が『事業推進のハブ』**となり、学内外への説明責任を鑑みた**事業推進を行うこと**を提案。

発注者支援	品質	事務局以外に大学執行部から施設ユーザー等の多くの関係者の要望事項を整理し、要望実現に向けた課題・リスクの抽出とその対応策検討を早期に実施することを提案。
	コスト	DB事業におけるコスト管理の要点を事務局と共有するほか、建設費だけでなく、付帯設備等の別発注業務も含めた 全体事業費の把握 と 事業完了までの継続的な管理の徹底 を提案。
	スケジュール	デイリースケジュールで各フェーズのマイルストーンを見える化し、学内関係者の検討期間を確保するなど、 納得感のある事業推進に向けた工程管理 を提案。
	合意形成・意思決定	上記の情報共有・管理体制構築のほか、各関係部署との会議体や役割分担、執行部への共有内容・方法等を事務局とともに協議し、 円滑な事業推進への寄与 を提案。

CMRが事務局とともに多くの学内外関係者との連携を図り、『事業推進におけるハブ』となりながら、国内最大規模の感染症教育・研究拠点整備を当初想定した3年5ヶ月という短期間での事業完了に寄与

CMRがとった手法

基本計画策定支援

大学総長を含めた大学執行部の想いの実現

課題 「部屋を並べるだけではない斬新なアイデアが欲しい」という大学執行部の想いの反映が必要。

手法・成果 新たな知を創出する「共創スペース」として「宇宙船地球号のデッキ」というコンセプトと敷地南側に広がる万博記念公園を一望する空間イメージ・計画を提案、3層吹抜の特徴的な空間の実現に寄与。

DB事業者選定支援

技術提案内容の確認とヒアリング項目の抽出

課題 各提案内容に関する実現性と有効性を検討し、大学初のDB選定における公平・公正な審査実施。

手法・成果 複数の応募者から提示された技術提案書について、評価項目ごとに横並び一覧表で整理を行い、各者の記載内容におけるポイントと懸念事項を見える化。

設計段階CM

ユーザーのニーズ整理と実現の支援

課題 研究組織の検討等、運用面の検討に合わせて、適時的確に要望を整理し、設計への反映が必要。

手法・成果 要望に変更があった場合の対応プロセスの整理や設計スケジュール上の検討期限を明確にした上で、CIDER事務室のアクションの整理を支援し、タイムリーな要望整理を実現。

施工段階CM

物価スライド協議のルール策定

課題 不安定な建設市況下において、**デザインビルド事業におけるスライド協議ルールの明確化**が必要。

手法・成果 契約約款の内容を確認しつつ、国交省マニュアルをベースとしたスライド額の計算方法と根拠足りえる項目を整理し、設計施工者と合意したうえで、**ルール策定及び物価スライド協議を支援**。

<コンセプト・空間イメージ>

<各提案内容の比較>

<要望のステータス管理>

各研究者の要望について、各関係者の対応状況を可視化し、反映まで管理

<スライド額検討資料>

プロジェクト・業務の目標達成度

項目	業務目標に対する成果
基本計画策定支援	<ul style="list-style-type: none"> 大阪大学初のDB(デザインビルド)事業の成功に向け、実現シナリオの早期構築による「あるべき姿・ありたい姿」の具現化を実現。 多岐にわたるプロジェクト関係者の意思決定と確実な合意形成による円滑な事業推進に寄与。
DB事業者選定支援	<ul style="list-style-type: none"> DB事業におけるCMのノウハウを反映させた、公平性・透明性の高い公募資料の作成と事業者選定基準の策定を支援。 関係者も多く難度も高いDB発注において、複数の応募者による競争環境下で最適なDB事業者(設計施工者)の選定を実現。
設計段階CM	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議体の提案と運営支援により、多岐にわたる関係者とのスムーズな合意形成と12ヶ月間という短期間での設計完了を両立。 要望の確認・調整に留まらず、CIDER事務室で必要なアクションを整理し、ニーズの整理と実現を支援。
施工段階CM	<ul style="list-style-type: none"> 物価変動の激しい建設市況下において、コスト増減管理の徹底と納得感のあるスライド協議ルールの策定を支援。 タイトな工事工程に合わせた付帯設備等の別発注業務との調整を支援し、予定通りの竣工式典・セレモニーの開催に寄与。

最もアピールしたいこと

- テーマ3に記載の「共創空間等の大学総長をはじめ関係者の想いの実現」、「大学初となるDB発注の成功」、「コスト増減なしでの事業完了」等のほか、下記のように、『顧客と一体となりプロジェクトを推進』するCMRの有効性を実証したと考えます。
- 2019年末に出現した新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中、**大阪大学で初めてのDB事業**で3年5ヶ月という短期間で「感染症に関する研究を国際的にリードする国内最大規模の感染症教育・研究拠点」を整備するという**難度の高いプロジェクト**を大阪大学の皆様と共に成功に導き、その後の大阪大学での大型プロジェクトの発注方法の選択肢の一つとして、**DB発注方式を確立**できました。
 - プロジェクトスタートから竣工までの期間を通じて、一貫してプロジェクトの推進を支援し、大阪大学の担当者様に**人事異動等**もある中、大阪大学の皆様と一丸となって、**プロジェクト推進における事務局の一員として継続的に携わることが**出来ました。

プロジェクトの基本情報	プロジェクト名称	大阪大学(吹田)感染症総合教育研究拠点整備事業	応募者に関する情報	応募者(法人)名	明豊ファシリティワークス株式会社	プロジェクト実施方式	■設計施工一括
	所在地	大阪府吹田市山田丘1番1号	応募者(法人)の所在地	東京都千代田区平河町二丁目7番9号	業務契約期間	業務契約開始	2021年10月
CM業務委託者に関する情報	種別1 / 種別2	■新築 / ■学校/教育	種別	■CM専門会社	業務契約完了		2025年2月
	CM業務委託者名	国立大学法人大阪大学	応募の対象となるCM業務を行った段階	■事業構想・基本計画 ■基本設計 ■実施設計 ■発注業務 ■工事施工	CM業務内容	全体・調達・品質・コスト・スケジュール・運営・管理・環境・リスクマネジメント	■事業構想・基本計画 ■基本設計 ■実施設計 ■工事施工
	CM業務委託者の所在地	大阪府吹田市山田丘1番1号	CMRの選定方法	■プロポーザル			